

平成29年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	公明党室蘭市議会
議員名	砂田 尚子、柏木 隆寿、細川 昭広
調査実施年月日	平成30年1月17日(水)
調査先 自治体名等	石川県小松市
調査項目	「未来を拓く小松市創造的ものづくり振興に向けたアクションプランについて」
調査目的	北陸地方で製造品出荷額最大の南加賀エリアにおいて中心的なものづくりのまち小松市の産業振興アクションプランを学び、本市の施策に活かす。
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口:108,564人 (H29.6.1現在) 行政面積:371.05km²</p> <p>2 視察内容 小松市では2010年に「未来を拓く小松市創造的ものづくり振興に向けたアクションプラン」を策定し2020年には北陸でダントツのものづくりのまちを目指し主に6つの政策を展開しPDCAサイクルによって取り組んでいる。主な取り組みとして①ものづくり技能継承塾、②次世代生産技術者育成、③ものづくり人材スキルアップ、④やさしい職場環境事業所表彰、⑤経営管理者育成、⑥イノベーション人材育成、⑦公立小松大学開設、⑧外国人住民生活支援事業、⑨経営モデルチェンジ支援、⑩異業種連携推進、⑪産学官共同研究推進、⑫女性起業家活動支援、⑬起業家利子補給制度、⑭企業立地助成、⑮本社機能移転推進税制、⑯小松ブランド認定事業、⑰ビジネス創造プラザセミナーなどの商工労働支援策を展開しKPI達成に向け取り組んでいる。小松市の製造品出荷額の推移をみると2010年:4,874億円(室蘭市:1兆1,300億円)、2014年:5,997億円(1兆2,982億円)、2015年:6,025億円(7,739億円)と2019年:6,300億円にむけて順調に伸びている。特にいまや世界企業となった建設機械製造・販売のKOMATSU(小松製作所)がけん引している。</p>
感想(まとめ) 本市へ活かせること等	<p>年々、製造品出荷額が増えていることでアクションプランが着実に実施されていることが明らかである。本市の製造品出荷額も大手ものづくり企業の動向に左右される状況であり、昨年発表されたJXTG室蘭製造所の製造停止の影響は非常に大きい。本市も様々なものづくり企業への施策を展開しており、地域未来投資促進法推進による地元大手企業の航空機産業参入を目指しているが早急な成果は見込めない。また、地元中小企業による航空機部品製造クラスター形成も今後の課題となるが小松市のような①ビジネス創造セミナー、②産学官共同研究推進、③イノベーション人材育成、④ものづくり人材スキルアップなどを実施し地場企業育成につとめクラスター形成の醸成を図るべき。また、道内他地域企業との連携も視野に本市が橋渡し役を行うことも目指すべきと感じた。将来的にはTPP参加国向けに販路開拓を目指す事業者を支援する施策も検討すべきである。</p>